

第2学年音楽科学習指導案

平成18年9月26日(木) 第3校時

第2学年D級(男子21名, 女子20名)

指導者 満島 彩



1. 単元 豊かな表現を求めて

2. 目標

- 楽曲に親しみをもち、みんなと協力しながら意欲的に音楽活動に関わる態度を育てる。
- 曲想を感じ取り、その場に応じたふさわしい表現を工夫することができる。
- 歌詞の内容にあった歌い方に気をつけ、自然で無理のない声で歌うことができる。
- 曲のよさや雰囲気を感じながら、範唱や友達の演奏を聴くことができる。

3. 指導観

- 本単元は、学習指導要領の第2学年及び第3学年の表現の内容(1)ーア「歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい歌唱表現を工夫すること」、キ「音色、リズム、旋律、和声を含む音と音とのかかわり合い、形式などの働きを理解して表現を工夫すること」をねらいとして設定したものである。

音楽にはそれぞれ、その曲自体に込められた想いや情景がある。その曲想を感じ取って聴いたり、そこに込められた想いを想像しながら表現したりすることは、そのこと自体が音楽を楽しむということである。ここでねらいとする「歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい歌唱表現を工夫すること」は、生徒自身がなぜこういうイメージや感情をもったのかという根拠を、歌詞や曲の仕組みの中に探すという行為に繋がっていくということである。このことによって、その曲特有の味わいをつかむことができるようになり、曲にふさわしい表現がどういう表現であるかが分かってくる。また「音色、リズム、旋律、和声を含む音と音とのかかわり合い、形式などの働きを理解して表現を工夫すること」は音楽の諸要素の働きを他の構成要素と関連させながら総合的に知覚することである。これは、音楽の感性的側面とのかかわらせてイメージ豊かに理解する能力を伸ばし、表現を工夫する技能を得ることをねらいとしている。本教材は題名にあるとおり「信じる」ということを大きなテーマとして挙げ、思春期にある生徒たちが自分たちの状況と照らし合わせられる程に共感を持ちやすい内容で、楽曲構成も分かりやすく表現のしやすいものになっている。また全体の豊かな響きを感じ取ることができる曲である。

- 本学級の生徒は、興味・関心がある分野についてのアンケートで様々な項目がある中、「音楽が好き」と答えた生徒が全体の5分の3程度おり、合唱活動についても橋祭が近づき曲もより仕上がってきた近頃、益々意欲的に取り組む姿が見られる。曲想についても理解し、積極的に色々な歌唱表現を取り入れているように感じる。しかし基本的な曲の構成要素、特にテンポ・リズムについては3分の1の生徒が理解していない。音色、リズム、旋律、和声を含む音と音とのかかわり合い、形式などがどのように働いているのかを、曲想とのかかわりあいにおいてより総合的に理解するという点については、これからの学習によるところが大きい。
- そこで本単元では、教材「信じる」の曲想を十分に感じ取る活動を通して、曲想にあった表現の美しさに気づくようにし、自分たちの表現に工夫して活かすことから、豊かな表現への意識や意欲が高まるようにする。

まず、教材の範唱CDを聴いたり歌詞解釈をしたりすることで曲に対するイメージをふくらませ、どのような表現をしたいかを全体で統一させたい。その後、曲中の音色、リズム、旋律、速度、強弱などの曲の構成要素を確認しながらパートリーダーを中心に全体合唱に向けてパート練習をしていきたい。そして全体で構成の確認をし、そして歌い方や表現の統一を図るために全体合唱をすることでより曲の雰囲気、曲想、美しさ、豊かさといったものを生徒に感じ取らせたい。さらにクラスがまとまってひとつの曲を創り上げているという実感を味わわせるとともに、演奏を録音して聴く活動を設定することにより、曲想や情景を思い浮かべて表現することのよさを味わい、活動の充実感や音楽表現の楽しさを味わうようにする。さらに単元のふりかえりを通して、これからの学習に活かしていこうという気持ちを高め、さらに音楽に親しんでいこうとする心情が高まるようにする。

4. 教材

- 「信じる」 (谷川俊太郎作詞 松下耕作曲)

5. 指導計画

豊かな表現を求めて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11 時間

- (1) パート練習を中心とした音取りをして曲の感じをつかむ。――2 時間
 (2) 曲の構成をきちんと理解し、合唱できるようにする。――7 時間(本時 6 / 7)
 (3) 歌詞解釈を見直し、各声部を聴きながら曲にあった表現ができるようにする。――2 時間

6. 本時の学習指導

(1) 目標

- 曲の構成要素を確認して、豊かな表現を工夫することができる。

(2) 資料及び準備

楽譜、録音機材、構成要素を書いたプレート、写真、ホワイトボード

(3) 学習指導過程

学習内容及び活動	指導上の留意点	時間
1. 発声練習をする。 ○ 「犬のおなか」で発声練習をする。 ○ 「あくび」で発声練習をする。	○ 姿勢・口の開け方・顔の表情など、発声の仕方に注意しながら歌うように助言する。	5 分
2. 本時の学習内容と目標を確認する。 曲の構成要素を確認して、豊かな表現を工夫しよう。	○ 本時の学習内容と目標を明確にしておくことで、生徒一人ひとりが学習に見通しを持てるようにする。	7 分
3. 「信じる」の曲の一部を抜粋し、練習する。 ○ 「地雷を踏んで…」の所の曲の構成要素・曲の情景についての確認をする。 ・ 確認事項…テンポ、リズム、音色、音程、強弱、バランス、表情 ○ 歌詞から読み取ることが出来る情景を考える。	○ 曲中の注意事項を意識できるようにするために曲の構成要素を掲示する。 ○ 情景を思い描きやすくするため、実際に地雷で足をなくした子どもの写真を提示する。	15 分
4. 「地雷を踏んで…」の所を録音して聴き、パート・全体で反省する。	○ 表現の工夫と、それに伴い楽譜に忠実に歌っているのかを良く聴くように促す。 ○ パートリーダーを中心に反省させ、パート練習に繋げるために各パートに声を掛けるなどの支援をする。	20 分
5. パート練習をする。 ○ 歌う姿勢に注意して伸びやかな発声で歌えるようにする。 ○ 歌うときの表情・体の使い方を確認する。	○ 円滑にパート練習が出来ているかを確認しながら各パートを回り、つまずきが出ているパートにはアドバイスをする。 ○ 他の人の歌っている姿と自分とを比較しながら歌うように声掛けをする。	

○ 音(音程)を確認して、美しい響きになるように練習する。	○ 音が取れていない箇所は何度も練習し生徒の身に付くように支援する。	27分
6. 合唱練習をする。		
○ 全体で一つの円になり、表情を確認しながら歌う。	○ 一つの円になって歌うことで表情がいい人を見ることのできる場を設定する。	
○ 合唱隊形になり、楽譜に出てくる記号を意識しながら歌う。	○ 生徒が譜面に出てくる強弱記号や表情記号を意識し、表現をさらにつけることが出来るように声掛けをする。	35分
○ 再度録音して聴き、響きが豊かになったかを確認する。	○ 授業の始めとどこが変わったか、どこがあまり改善されていないのかを聴くように指導する。	40分
○ 最後に一度曲を通す。	○ 今回学習した所を他の場面でも応用するように指導する。	45分
7. 本時のまとめをする。	○ 目標を再確認し、達成できたか振り返る場を設定する。	48分
8. 次時予告を聞く。	○ 次時の学習活動への意欲が高まるように助言する。	50分

7. 板書計画

目標：曲の構成要素を確認して、豊かな表現を工夫しよう。

テンポ

リズム

音色

音程

強弱

バランス

表情

地雷で足をなくした子どもの写真

感想

.....